



京臨技会報

KYOTO ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

発行所 (社)京都府臨床検査技師会

発行責任者 湯浅 宗一

編集者 白波瀬 浩幸

〒606-8395 京都市左京区

東丸太町 9-1 マンパワービル 3F

TEL・FAX 075-752-5090

E.mail : mbox2@kyoto-amt.js-md.net



CONTENTS

TOP	平成 20 年度京都府臨床検査技師会総会
KEY WORD	ホルムアルデヒドの取り扱い規則
INFORMATION	第 19 回日本臨床寄生虫学会のご案内
SEMINAR	研修会報告 (北部学術・一般・臨床化学・免疫血清・細胞病理)
PROCEEDINGS	理事会議事録 (第 9 回、第 10 回)
LEAFLET	市民公開講演のご案内

平成 20 年度京都府臨床検査技師会定期総会

平成 20 年度京都府臨床検査技師会定期総会

日時：平成 20 年 5 月 24 日 (土) 13:00 ~ 14:45

会場：京都アスニー (京都市中京区丸太町通七本松西入ル)

市民公開講座

日時：平成 20 年 5 月 24 日 (土) 15:00 ~ 16:30

場所：京都アスニー (京都市中京区丸太町通七本松西入ル)

演題：乳がんの検診と最新の診断・治療

-あなたは症状がなくても乳がんになってしまっているかも-

講師：沢井清司先生 (京都プレストセンター 沢井診療所 院長)



【創立 55 周年記念行事 表彰受賞】

平成 20 年 2 月 8 日、日臨技創立 55 周年記念行事において、京臨技の理事として永年検査業務ならびに公衆衛生活動に貢献された小坂明顧問 (前副会長) 今井秀一副会長が、厚生労働大臣表彰の栄を賜りました。

【湯浅会長 日臨技理事に】

3 月 29 日に開催された平成 19 年度第 2 回日臨技総会にて、平成 20 年度・21 年度役員が信任されました。そのなかで、小崎日臨技会長推薦によって湯浅会長が日臨技理事に再任されました。京臨技の代表としてもご活躍いただきます。

KEY WORD

キーワード

平成20年3月31日

会員各位

(社)京都府臨床検査技師会

平成20年3月よりホルムアルデヒドの取り扱い規則が厳しく適用されます

特定化学物質障害予防規則等が改正され、ホルムアルデヒドが特定化学物質の第3類物質から特定第2類物質へ変更されました。このため、平成20年3月1日から、ホルムアルデヒドに対する規制が厳しくなりました。多くの会員施設（特に病理検査室）でホルマリンを使用されていることとと思われますが、ホルマリン原液は約37%ホルムアルデヒド水溶液ですので、規制の対象となります。

換気装置の設置、作業記録の作成・保存、年2回の健康診断、保護具等の設置、管理区域の表示、作業主任者の選任、作業環境の濃度測定などが、義務付けられています。

詳細は、下記HPをご覧ください

厚生労働省：平成19年12月の特定化学物質障害予防規則等の改正
(ホルムアルデヒド、1,3-ブタジエン、硫酸ジエチル)

<http://www-bm.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei17/index.html>

日本病理学会：「ホルムアルデヒドの健康障害防止について」

http://jsp.umin.ac.jp/committee/formaldehyde00_080225.html

京都労働基準連合会:特定化学物質作業主任者技能講習案内

<http://www.kyoukiren.or.jp/hp/kensyu/kousyu/k-htm/kou.htm>

日臨技でもなんらかの対応が検討されるようです。追加資料等あれば随時更新いたします。

<お願い>

京臨技としては、今回の改正は職場環境改善のチャンスであると捉えています。ホルマリンは人体に有害な物質であることを改めて認識し、皆様自身の健康被害をなくす方向で、職場環境改善の追い風になるようお願いしております。

また、何か情報があれば会員の皆様からも京臨技にお教え下さい。

窓口：京都民医連中央病院 病理課 林 孝俊 (hayashi takatoshi)

E-mail:tak-h@mbox.kyoto-inet.or.jp

第19回日本臨床寄生虫学会のご案内

INFORMATION

お知らせ

第19回日本臨床寄生虫学会を下記の通り開催いたします。本学会は、寄生虫症の一例報告あるいは多数例の解析を集めて、一緒に勉強しようという趣旨の会です。本学会で報告されますと、日本臨床寄生虫学会誌「Clinical Parasitology」にプロシーディングが掲載され、有効に活用していただけます。臨床系の先生方、臨床検査に携わる先生方及び寄生虫症を専門とする方々の多数のご参加をお願い申し上げます。

大会長 有菌直樹（京都府立医科大学医学研究科寄生病態学教授）

1. 開催日：2008年（平成20年）6月7日（土） 9:00～17:00

2. 会場：京都府立医科大学図書館ホール（京都市上京区広小路通り河原町西入）

交通のご案内 （JR線、近鉄線）京都駅より市バス205, 17, 4号系統にて府立医大病院前下車すぐ
（地下鉄南北線）丸太町駅下車徒歩10分

駐車場の用意はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。

3. 講演と研究発表

A. 会長講演（座長 荒木恒治）

有菌直樹（京都府立医科大学医学研究科寄生病態学）

B. 厚生労働科研報告（座長 竹内 勤）

1. 輸入マラリア（仮題）

狩野繁之（国立国際医療センター）

2. 輸入蠕虫症の現状と課題（仮題）

太田伸生（東京医科歯科大学大学院国際環境寄生虫病学分野）

3. 慢性寄生虫感染症の侵入監視及びその健康管理体制（仮題）

宮平 靖（防衛医科大学校国際感染症学）

C. 一般演題と寄生虫症例報告

4. 学会参加費

理事・評議員 5,000円

一般会員 4,000円

学生・大学院生 2,000円（学生証または身分証明書をご提示ください）

学会当日、学会会場にてお支払いください。

なお、非会員の発表者は、是非学会員におなり下さい。当日、学会受付にて入会金5,000円をお支払い願えれば幸いです。

大会事務局

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465

京都府立医科大学大学院寄生病態学教室内

第19回日本臨床寄生虫学会大会事務局 事務担当：山田 稔

TEL：075-251-5325 FAX：075-251-5328

E-mail：kiseichu@koto.kpu-m.ac.jp

SEMINAR

研修会報告

●●● 北部学術 07-048

日時：平成20年02月23日(土)(14:00~16:30；綾部市立病院大会議室)

参加人数：43(35)人 分類：専-20

主題：尿沈渣の見方と考え方～血尿診断ガイドラインを踏まえて～

主題：各種検体に見られる悪性リンパ腫の細胞鑑別のポイント

講師：西 国広 氏(株式会社SRL)

後援：シスメックス株式会社

講演会当日は日本列島に強い寒気が流れ込み、会場の綾部も一面銀世界。そんな中、福岡から西国広先生をお迎えして、北部学術研究班平成19年度最後の行事となる形態学講演会を開催した。外の天候

とは裏腹に京都府以外からの参加者も加わり大変熱い内容の講演会となった。第一部の尿に関する講演では、他学会と共同で作成された血尿ガイドラインを基本に我々検査技師が見落としとしてはならない尿沈渣の見方についてくわしい説明があった。第二部の血液像についての講演では、先生の深い経験で収集された美しいスライドを拝見させてもらいながら主に顕鏡における悪性リンパ腫の細胞鑑別ポイントについての説明があった。あっという間の2時間半であった。学術面以外にも先生から、三感(感激感動感謝) 一期一会、温故知新の教えもあり、また常に「病む人の気持ち」をという教えもいただいた。

平成20年03月23日 報告：四方 学

●●● 一般 07-050

日時：2008年02月23日(水)(14:00~16:00；京都保健衛生専門学校)

参加人数：21(21)人 分類：専-20

主題：一般検査分野 研修会

副題：見て聞いてさわってみよう!! 「尿沈渣自動分析装置」

講師：宮尾 雅美 氏(シスメックス株式会社 大阪支店 学術情報課)

講師：東野 功嗣 氏(アークレイマーケティング株式会社営業統括本部学術センター)

講師：舩岡 正二郎 氏(東洋紡績株式会社 診断システム事業部)

協賛：シスメックス株式会社、アークレイマーケティング株式会社、東洋紡績株式会社

今回の研修会は、現在販売されている3社の尿中有形成分測定装置のプレゼンテーションおよび機器展示でした。

朝は春を思わせるようないい天気だったのが、開始時間近くになると大嵐、終了時には雪が降ってくるという不可解な天気の中、たくさんの人数、そして遠くは岡山から出席していただきました。

各社のプレゼンテーション時には、質疑が活発に行われ、関心の高さを伺えました。プレゼンテーションが終了してからは、3社の分析器をデモンストレーションしていただきました。3社とも特徴があり、会員さんたちは熱心に担当者から話を聞いて実際に測定等をしていました。検査室で購入を考えておられる方は特に力が入っていたようです。

平成20年03月16日報告：山路 順子

●●● 臨床化学 07-058

日時：平成20年03月11日(火)(18:30~20:45；京都保健衛生専門学校 視聴覚教室)

参加人数：13(8)人 分類：専門4-5-20

主題：第23回京都府臨床検査精度管理調査報告会

講師：南部 昭 技師(京都府立医科大学医学部附属病院)

主題：検査データの標準化(共有化)と精度管理

講師：菅谷 達巳 氏(株式会社シノテスト 応用技術部)

協賛：株式会社シノテスト

精度管理調査 臨床化学研究班報告会

平成19年度より「臨床検査データ共有化事業」3

ヵ年計画が開始され、京都では京都府立医科大学臨床検査部と京都大学医学部附属病院検査部が基幹施設として登録された。今回の調査では共有化事業をふまえて実施項目が選定された。当日は参加全施設の生データと統計値およびプール血清の測定値のヒストグラムを報告いただいた。報告には施設間のデータが収束できている項目とそうでない項目、同一の分析法・検量での報告値に乖離をみる項目も認められた。作業手順書の再確認や測定試薬の特徴、測定対象の見極めの必要性が指摘された。今後さらなるデータの共有化に向け、技師会がどのように各施設と関わっていくか、また適切なコメントの発信方法などが課題として話し合われた。

- 2、日臨技臨床検査データ共有化事業
- 3、品質保証と精度管理
- 4、精度管理の種類・方法

標準化により健診機関が「健診判定値」の信頼性を確保・保証することが可能になる。一方十分な精度管理も要求されることとなる。当日は「標準的な健診・保健指導プログラム」より健康診査における精度管理の在り方について、統計学的精度管理(内部および外部精度管理)と総合的精度管理(検査行程全体に対する精度管理)について、またそれらの方法・評価について講義いただきました。さらに日臨技臨床検査データ共有化事業についても解説いただきました。

演題2 検査データの標準化(共有化)と精度管理

平成20年03月11日報告：下川原 えり

1、臨床検査と標準化



●●● 臨床化学 07-051

日時：平成20年02月26日(火)(18:30~20:30；京都保健衛生専門学校 視聴覚教室)

参加人数：18(13)人 分類：専門4-5-20

主題：採血手順~JCCLS 標準採血法ガイドラインより

副題：真空採血管器材の取り扱いのポイント

講師：石黒 康裕 氏(テルモ株式会社ホスピタルグループ 医療カンパニー商品企画チーム)

主題：採血業務アシストソリューション

講師：兼本 幸治 氏(株式会社テクノメディカ 大阪支店営業部)

協賛：株式会社テクノメディカ、テルモ株式会社

採血手順(真空採血)-JCCLS 標準採血法ガイドラインより-真空採血管の取り扱いのポイント

1、標準採血法のポイントと注意点

2、真空採血の原理、器材の素材と特性、取り扱い上の注意点

真空採血管の採血量は大気圧、採血管内温度、器材に用いられる PET 素材の経時変化による内圧の低下に影響される。遠心条件としては 1200G、10 分以上の遠心を推奨、また分離剤入り採血管は低温では分離剤が浮上しない場合があり室温(15 度以上)で扱う必要がある。資料として凝固検査用採血管の採血量のデー

タへの影響、遠心力と遠心温度による分離能についてのデータを提供いただいた。

患者および採血者に安全な採血手順、臨床検査の標準化・検査結果の保証、採血現場における実用性、医療器材の性能、経済効率などをふまえてガイドラインは策定された。採血ホルダーの性能、採血針の取り扱いなど採血現場から受ける質問への回答、参加者からはチーム医療、看護支援現場からの情報提供などが行われた。

採血業務アシストソリューションについて

- 1、採血受付
- 2、採血管準備
- 3、患者呼出・照合
- 4、進捗状況

採血コントローラによる採血状況の随時更新、待合表示モニタ、時間別患者数グラフ表示、また登録された採血コメントの表示も可能である。採血管準備と指示書、手貼り用ラベル・コメントラベルの発行、また情報端末での未呼出しチェックや呼出しとの照合プログラムが採用されている。採血前チェック機能としては食事・服薬・アレルギーなどの質問項目の設定やその提示条件の登録が可能である。さらに採血者の援助要請機能や、進捗管理モニタでは設定された患者数を越えた場合のアラーム機能も採用されている。当日は採血管準備装置の紹介もいただきました。

平成20年02月26日報告：下川原 えり



●●● 免疫血清 07-060

日時：平成20年03月26日(水)(18:30~20:30；
京都アスニー)

参加人数：9(5)人 分類：専-20点

主題：ウイルス感染と血液製剤について

講師：沖 学 氏(京都府赤十字血液センター)

主題：HCV 遺伝子測定 TaqMan PCR について

講師：小川 泰史 氏(Roche Diagnostics IVD 事業部 営業部門 大阪支店 FSS 課)

今回、話題の血液製剤と感染症について過去から現在への検査の変化や血液センターの感染に対する取り

組みについて、の講演会を開催した。PCRを血液センターにて導入開始をしてから感染に対するリスクは非常に少なくなったとはいえ、やはりウイルスのウィンドー期をふまえると完全に無となることは難しい。しかし、プールする検体数を減らすことで感染している製剤を感知できる感度をたかめている。昨今、報道等でも製剤での感染が取り上げられているが、感染発症するまでの期間を考えると輸血をしない限り助けられない命とは比較できないものではなかろうかという様々な意見が出され、大変有意義な講演会であった。

平成20年02月28日報告：小寺 宏尚

●●● 免疫血清 07-040

日時：平成19年11月09日(金)(18:30~19:30；
京都アスニー)

参加人数：12(9)人 分類：専-20点

主題：メタボリックシンドロームと免疫

副題：アディポネクチンを例に取り

講師：渡辺 裕司 氏(富士レボ株式会社 学術サービス部)

今回、話題のメタボリックシンドロームについて免疫反応との関係を含めた内容の講演会を開催した。

アディポネクチンとは、脂肪細胞から血液中に分泌さ

れるホルモンで、糖尿病や動脈硬化症などを予防する効果があるといわれており、近年注目されている。メタボリックシンドローム解消にアディポネクチンが役立つとの報告がされている。講演会ではメタボリックとアディポネクチンとの関係について、免疫反応を踏まえて基礎から応用までの内容であり、日常的にもどのような生活をすれば予防できるかなど、大変有意義な内容であった。

平成20年02月28日報告：小寺 宏尚

●●● 細胞病理 07-045

2008年02月09日(土)(15:00~18:00；京都大学医学部附属病院 検査部会議室)

参加人数：12(12)人 分類：基礎-20

主題：RCA分析について

講師：長尾 能雅 助教(京都大学医学部附属病院 医療安全管理室)

講師：白波瀬 浩幸 技師(京都大学医学部附属病院 病理部)

講師：西村 博明 技師(京阪奈病院)

講師：江口 光徳 技師(宇治徳洲会病院)

今回は病理・細胞研究班としてはおそらく初めての試みで、病理・細胞分野におけるインシデント・アクシデント事例の分析実習を行った。はじめに講師の長尾先生よりRCA分析に関する講義があり、分かりやすく教えていただいた。その後参加者全員を2班に分けて今回のために準備していた2例のアクシデント事例を分析していった。各班にアシスタントとして分析を経験している講師がつき、長尾先生の指導に沿って分析を進めていった。今回準備した事例は実際におこったアクシデント事例を基に分析実習用に若干アレンジを加えたものであったが、病理検査を行っている者は誰でも遭遇しそうな事例であり、参加者は熱心に実習

を行っていた。参加者は始めなれない為にやや戸惑っていたが、時間がたつにつれどんどん積極的に話し合うようになっていた。全員が一言以上は意見を出して活発な実習となり、最後はもう少し時間が欲しいくらいであった。

今後は参加者がそれぞれの施設に今回の分析方法を持ち帰り、ぜひ自施設でもインシデント・アクシデント事例の分析を行っていただければ、多くの施設がより良い環境になっていくと考えられる。

2008年02月13日報告：江口 光徳

●●● 細胞病理 07-052

日時：2008年03月08日(土)(13:00~17:00;京都市リサーチパーク 東区1号館 中会議室A)

参加人数：43(29)人 分類：分類：専-20

主題：Liquid Based Cytology - SurePath法の原理とこれからの展望

主題：細胞診スライドカンファレンス

講師：二谷 悦子 技師((株)医学生物学研究所 情報科学事業部)

講師：安達 博成 技師(奈良県総合医療検査センター)

講師：白波瀬 浩幸 技師(京都大学医学部附属病院)

講師：三谷 弘美 技師(奈良県立医科大学附属病院)

講師：神崎 由佳 技師(京都民医連中央病院)

講師：坂本 真一 技師(天理よろず相談所病院)

液状細胞診検体処理法「SurePath法」の原理とそれを応用した検査について講演とスライドカンファレンスが行われた。液状細胞診は、最近普及しつつある検体処理法である。その特徴は、塗抹不良などの不適正標本の減少と異型細胞の検出率の向上、免疫染色や遺伝子検査にも応用できるなどの特徴がある。欧米では、広く利用されているが、日本では導入しているラボは少ない。その理由の一つとして、ランニングコストが高いことが挙げられる。

また、スライドカンファレンスは、ルーチンで判定困難な症例が提示された。

2008年03月28日報告：黒川 聡

●●● 生理 07-054

2008年03月22日(土)(15:30~17:00;京都保健衛生専門学校)

参加人数：32(30)人

主題：末梢血管疾患のカテーテル治療の実際

講師：中村 茂 氏(京都桂病院 心臓血管センター 所長)

カテーテル治療の歴史から現在の治療法の実際まで、手技の動画を交えて分かりやすく解説頂いた。動脈硬化疾患は食生活の欧米化、車社会の発達、高齢化社会により年々増加してきている。頸動脈、腎動脈、下肢動脈などに起こる動脈硬化症をはじめ、深部静脈血栓症などの疾患を、初めに診断できるのは検査技師が行っている、ABI/PWVであり、血管超音波検査で

ある。

普段、自分たちが関わった検査で異常値が出た後の治療法の理解が深まったと思われる。

2008/03/26：辻 真一

【京臨技仮会員(会費無料)のご案内】

臨床検査技師養成学校(大学、短期大学、専門学校)卒業1年以内のもので京都府内の施設に所属するか若しくは京都府内に在住の臨床検査技師。

京臨技活動に賛同できるもの。

次年度には技師会正会員になる予定のもの。

～ すべてに該当する場合は、京臨技仮会員になれます。手続き方法など詳しいことは、京都保健衛生専門学校(メール：office@kyoto-amt.js-md.net)の小澤理事までお問い合わせください。

平成19年度第9回定例理事会議事録

日時：平成20年2月14日(木)18:30~20:30

場所：京臨技川端丸太町事務所

議長：湯浅宗一

書記：今田 議事録署名人：白波瀬、江見

出席顧問：田畑

出席監事：清井

出席理事：湯浅、今井、芦田、石澤、今田、江見、大田、荻野、

小澤、佐々木、丹羽、林(孝俊)、廣瀬、若栗

欠席理事：豊山、林(雅弘)、小原

委任状出席：白井

1.【報告事項】

湯浅会長報告

日臨技関係

- 1月26日(土)代議員会 於：日臨技会館
- 2月2日(土)地区連絡会議 於：かんぼの宿 淡路島(公益法人化についての論議)
- 2月8日(木)日臨技55周年記念式典 於ホテルオークラ 東京(厚労大臣表彰あり)

近臨技関係

- 1月18日(金)兵庫県技師会新年交礼会於:三宮
- 2月2日(土)近畿理事会 於：かんぼの宿 淡路島
- 京臨技関係
- 1月25日(金)公益法人説明会 於京都テルサ(この春に詳しい説明がある模様)

その他

- 1月26日(土)平成19年度日本臨床検査技師連盟責任者会議(代理)於：日臨技会館 予定
- 2月24日(日)京都府鍼灸師会会長井上慶山先生褒章祝賀会 ホテルグランピア京都(湯浅会長出席予定)
- 3月12日(水)京都保健衛生専門学校卒業式 京都アスニー(今井副会長出席予定)
- 4月9日(水)京都保健衛生専門学校入学式 京都アスニー(湯浅会長出席予定) 白波瀬副会長報告
- 2月2日(土):一次救命処置講習(AED使用方法含む)(京都保健衛生専門学校)出席し挨拶を行った。 荻野学術部長報告
- 2月7日(社)日本臨床検査薬協会 プロモーション実務委員会(大阪薬業クラブ)
- 2月9日 日臨技総合管理部門研修会 <司会及び実務>(JICA 大阪国際センター)
- 2月10日 近臨技近畿チーム医療推進委員会 21世紀を担う臨床検査技師実践セミナー2008 大阪 <実務>(JICA 大阪国際センター)京都より2名参加。来年は兵庫で開催予定。
- 1月26日 学術部チーム医療 第3回京都北部CDEの会講習会(舞鶴医療センター)参加会員4名、全体81名 小澤総務部長報告
- 会員発送物：日臨技総会案内と京臨技役員選挙の案内を送ります。
- 近臨技関連：
 - ・近畿医療フォーラム案内 平成20年3月1日(土)14:30~16:30、場所：大阪府病院年金会館「コンベンションルーム」、参加費：無料、テーマ：「診療報酬改定の情報」、講師：国際医療福祉大学 教授 渡辺 清明 先生(1部、2部ともに) 第1部：「診療報酬改定関連の情報」(14:40~15:25) 座長 近畿臨床検査技師会 副会長 植山 實、第2部：「行政の臨床検査への期待と対応」(15:40~16:25) 座長 近畿臨床検査技師会 会長 湯浅 宗一

• 他団体

- 京都がん医療を考える会より会報が届きました。 江見理事報告
- 2月12日現在の会員数は963名(新・再入会81名含む)です。会費納入会員929名 豊山理事報告
- 2月5日 第43回 京都病院学会 第1回実行委員会出席 2008年6月8日(日) 京都府医師会館にて開催、要望演題「地域医療連携」 林雅弘理事報告
- 什器備品管理報告(別紙) 丹羽理事報告
- 会計の扱いについては会計士と相談し例年通りとする。 廣瀬理事報告
- 第5回施設責任者会議は「将来の検査室を考える」と題し、一部講演(90分)、二部意見交流(1時間)の予定。3月初旬に詳細打ち合わせ。アンケート締め切り2月15日。案内状は別途送付予定。 林(孝俊)理事報告
- 労安法改正により、ホルムアルデヒド等に関わる労働者の健康障害防止措置の拡充が3月1日より施行される。ホルマリンを扱っている病理・内視鏡室・手術室などでの関わりがでてくるのではないかと、日臨技よりの通達を要請することが必要か。詳細がわかったらホームページでアップして欲しい。

2.【承認報告】

京都CDEの会(糖尿病療養指導士関連)からの後援申請(会長承認により処理済) 「細胞診教育セミナー」より例年通り京臨技の後援申請があり理事会で承認。

3.【議題】

- 1) 総会準備進捗状況と研究班活動計画について
 - ・ 班長合同会議の発言より、次年度計画作成に理事会としてどう関与するか。
 - ・ 研究班活動費の一律配分を今後どうするか。
 - ・ 免疫血清斑と臨床化学研究班の統合(生物化学分析研究班) 上記については学術委員会を招集し各研究班の意見や要望を聞き取り論議する。(継続審議)
- 2) 京臨技役員選挙準備進捗状況

2月20日公示を行う。(詳細は別紙)3月行事予定と同時発送で準備中。役員選挙規程の一部改訂必要。(定款改訂後の変更が出来ていないため)総会での議決を行う。
- 3) 新役員候補状況 会長職ふくめて

現在6名の推薦あり。(退任理事6名) 湯浅会長へ日臨技より国際委員への打診あり。副会長の補佐で京臨技会長とあわせての業務進行が可能か、三役で調整会議を行い方向性を決める。(継続審議)
- 4) 施設責任者リーダー会議

実務委員：廣瀬、大田、芦田、清井、今井 理事報告ですみ。
- 5) 日臨技移植検査部門研修会について

役員より実務委員派遣：白波瀬、小澤、丹羽、山方 京大笠井氏より推薦5名で9名の実務委員となった。現在参加申し込み2名。研修会まで一ヶ月あまりとなったが、日臨技のシステムについても意見を上げることが必要。成功へ向けて協力を強める。
- 6) 次年度役割分担の見直し
 - ・ 理事退任による見直し 行事予定 若栗理事退任 医療推進協議会 江見理事、白井理事退任

- くらしと健康展 大田理事退任
- ・現担当者からの要望
 - 生涯教育担当者の複数化(林民医連)
 - 事務局業務の削減(小澤)
 - 近臨技理事退任希望(小澤)
 - チーム医療担当理事に林雅弘氏を推薦(前回理事会で提案あり)(荻野)
 - それぞれの業務把握を行い、分割をしていく。OBの協力も仰ぐことを考える。(継続審議)
- 7)教育現場からのお願い
- ・臨床検査技師職を一般市民へ啓蒙するために「臨床検査の

- 日」のような行事を設定してほしい。
- ・学校オープンスクールに運動した中学生、高校生の病院検査室の見学を受けていただきたい。
 - 次年度検査デーなどでの取り組みの一環で考えてはどうか。
 - 次回具体的提案あり。(継続審議)
- 8)近畿学会担当準備について(21 または 22 年度)継続議題場所は都メッセが国際会議場を予定

次回理事会 日程：3月13日(木)
会場：京都保健衛生専門学校

平成19年度第10回定例理事会

目 時：平成20年3月13日(木)18:30~20:30

場 所：京都保健衛生専門学校

議 長：湯浅

書 記：白井

議事録署名人：湯浅、小澤

出席顧問：田畑

出席監事：なし

出席理事：湯浅、今井、白波瀬、芦田、石澤、江見、大田、荻野、小澤、佐々木、白井、丹羽、廣瀬、豊山

委任状出席：林(孝俊)、小原

欠席理事：今田、林(雅弘)、若栗

1.【報告事項】

- 湯浅会長
日臨技関係
- 3月22日 日臨技移植検査部門研修会 申込者少数(9名)のため中止
その他
- 2月24日、京都府鍼灸師会会長井上慶山先生褒章祝賀会に出席(小澤理事同行)
白波瀬副会長
- 会報(No.24 平成20年3月1日号)発行
芦田副会長
- 3月12日 京都保健衛生専門学校 平成19年度卒業式 出席
- 3月12日 私立病院協会 院内感染対策推進事業合同会議 出席
- 平成19年度の推進事業のとりまとめ
- 平成20年度の推進事業について
荻野学術部長
- 日本臨床検査薬協会プロモーション委員を招きプロモーションガイドライン説明会の開催、場所：京都保健衛生専門学校、日時：3月17日(月)18:00~
小澤総務部長
- 会員発送物：役員、班長、施設連絡責任者、一般会員毎月配信希望者へ発送
- 近臨技関連：「輸血研修会検査3ヵ年計画」報告 相田輸血検査研究班長作成
- 日臨技共催事業
 - ・一次救命処置講習会 日臨技へ報告終了
 - ・北部学術発表会 日臨技へ報告終了
 - ・日臨技生理機能分野研修会 日臨技へ報告終了
 - ・日臨技移植分野研修会(中止) 事後処理を日臨技と調整中 豊山理事報告
- 3月4日 第43回 京都病院学会 第2回実行委員会出席
<議題> 記学会における一般演題の座長5名、6/7、8の学会前日、当日の準備委員4名選出

2.【承認議案】

1. 会員動向

現在会員数：3/11 現在の会員数は958名(新・再入会81名含む)、理事会で確認すべきとの指摘があり、4月より実施する

2. 共催申請

糖尿病療養指導士講演会第4回京都北部CDEの会講習会 承認

3.【検討議案】

- 総会準備進捗状況 林(代理：小澤)
市民公開講演 日臨技共催事業として申請進める
講師：京都プレストセンター 沢井診療所 院長 沢井 清司先生
演題：乳がんの検診と最新の診断・治療
副題：- あなたは症状がなくても乳がんになってしまっているかも -
市民向けポスターを作成
- 平成20年度京臨技役員体制案 湯浅 継続審議
調整し、再提出する
- 京臨技役員選挙準備進捗状況 小澤 承認
立候補受付期間3月12日~3月25日
継続役員は立候補届を25日までに提出
- 施設責任者リーダー会議 廣瀬 承認
別紙資料あり
講演のタイトルを『これからの病院検査室の在り方を考える』に変更
- 来年度の組織図に、「京臨技データ共有化委員会」を追加(提案) 石澤 承認
理事の組織図には「データ共有化」の組織を設け、石澤理事が担当する
担当理事に基幹病院の責任者を加えて「データ共有化委員会」として組織する
基幹病院の責任者は研究班員であるように要請する
基幹病院：責任者(京大：志賀・府立医大：南部)として選出したい
- 特定化学物質障害予防規則(特化則)によるホルムアルデヒドの取扱 林(孝俊)、湯浅
日臨技に問い合わせる、担当は林(孝俊)理事 承認
- 来年京臨技が担当する近畿学会 継続審議
「みやこめっせ」の場合：11月27、28日 「京都国際会館」の場合：11月22、23日、「みやこめっせ」を視察する
- 第43回 京都病院学会の実行委員・座長の選任 承認
実行委員(4名) 桂病院から2名と保健衛生専門学校から2名選任、座長(5名) 生理研究班から3名および荻野理事、白波瀬副会長を選任
- くらしと健康展
第1回の実行委員会に、荻野理事出席

次回理事会 日程：4月10日(木)
会場：川端丸太町事務所

<お詫び>

平成20年3月22日(土)開催予定の平成19年度移植検査部門研修会(日臨技主催；京臨技担当)は都合により中止と致しました。

参加予定者ならびに関係者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。紙面をお借りしてお詫びいたします。



市民公開講演会のご案内

乳がんの検診と最新の診断・治療

-あなたは症状がなくても乳がんになってしまっているかも-

日時：平成20年5月24日（土）

午後3時から午後4時30分まで

場所：京都アスニー

（京都市中京区丸太町通七本松西入ル）

演題：乳がんの検診と最新の診断・治療

-あなたは症状がなくても乳がんになってしまっているかも-

講師：沢井 清司 先生

（京都ブレストセンター沢井診療所 院長）

参加費：無料

日本乳癌学会専門医で、日本乳癌学会や日本乳癌検診学会などにおいて要職にある乳癌診療のエキスパートに、乳がん検診や乳がんの最新の診断・治療について、わかりやすく講演していただきます。多数、ご参加ください。

主催・問い合わせ：（社）京都府臨床検査技師会

〒606-8395 京都市左京区東丸太町9番地の1 マンパワービル3F

TEL・FAX 075-752-5090 E.mail : mbox2@kyoto-amt.js-md.net

共催：（社）日本臨床衛生検査技師会